

1 昨日より今日、今日より明日。 明日はきっと良くなる。

～政治活動をする上で大切にしていること～

人口減少、少子高齢化、不安な社会保障、雇用への不安、多額の財政赤字、低成長の成熟国家・都市。右肩下がりであり先が見えない閉塞感が広がっています。山積している問題を解決するのは当然ですが、同時に、夢や希望、発展・成長の思想を忘れてはなりません。日本や台東区の新たな発展モデルをつくりだすこと。それが政治の役割だと考えています。

2 政治を信じる人を増やす。

地元の皆様にご挨拶回りをしていて「政治に関心がない」「政治はわからないから」という方がたくさんいらっしゃいます。政治活動をしている私に関わりたくないという口実もあるとは思いますが、自らの人生を左右する政治への関わり方は本当にそれでよいのでしょうか。「他党支持者だから」「自民党はこの点がダメだから嫌い」と言われた方が私は嬉しい。自民党や私への支持でなくとも、政治に主体的に関わって下さっているからです。私は、政治の強さも政治が持つ可能性も自らの経験として知っています。最後の最後に味方になれるのは行政でも司法でもなく政治です。「政治は国民のもの」。今必要なのは、皆様一人一人の参加です。それが日本と台東区のためになる。そのためにも、政治への信頼回復はこれからの政治家の使命だと心得ています。結果を出し、皆様の政治への信頼を取り戻します。

3 個人が変われば、社会が変わる。

日本や台東区をより良くするためには、任せきりや他力本願の姿勢ではいけないと思います。一人一人が自ら一生懸命頑張る。一生懸命頑張る個人が集まり、皆で力を合わせる。一般の組織や会社と同じです。国を代表する外交官も、大企業の営業マンも、看板が役に立つのは最初のきっかけのみ。本人やその話す内容に魅力がなければ成約には至りません。自民党が「一人ひとりを強く、豊かに。」というスローガンを掲げていた時期があります。自助自立を柱に、一人一人の力を信じ、一生懸命頑張る人の可能性を切り拓く。こうすることで社会全体も大きく変わる。政治の役割はこれが基本だと思っています。台東区の未来を共に創りましょう。「共に」がポイントです。

4 真の弱者のための政治

個人や家庭の問題であったものが社会全体の問題になることもあります。例えば、子育て問題。昔は子育てへの手当はありませんでしたが、少子化対策、ライフスタイルの変化等の理由で、まず手当制度ができ、そして徐々に手当の対象が広がりました。投入できる財源や人員には限りがあります。大事なことは、今、社会全体で取り組むべきことは何かの判断です。優先度や価値の判断です。そうした中、政治に対し、声を上げることすらできない真の弱者がいます。声の大きい方々の主張のみを傾聴するのではなく、「声なき声を拾い、手を差し伸べることができるのは政治」であるということに心を刻んでいます。

5 智勇

自らの名前にもあるこの言葉を常に意識しています。政治家は、力の源泉である知とともに、批判されても自らの言葉で堂々と意見を言える勇気、私生活領域をさらすことになっても、不安定な人生を送ることになっても信念を貫く覚悟、官僚組織や国民に個人で対峙する強さを備えていなければなりません。不満や問題意識の表明で終わりがたくない。さらには、解決策を提示するのみで終わらせたくない。実現までしっかりと責任を持って取り組みたい。研究を続けてきた私が政治家を目指した理由の一つです。理論と実践、研究と実務の融合を自らの人生において体現していきたいと思っています。実践や実務にあたるものが自分にとっては「政治」であり、「勇」でもあります。皆様から頂くご期待や感謝の言葉を勇気に変えて、人生を賭けて政治に挑戦します。



智のロゴについて

フクロウは知恵の象徴であり、行動力や実践・実務の象徴でもあります。「日」（いわく）の部分が大きい点も政治家らしいと思います。ロゴが表すような政治家になりたいと思います。ちなみに夜型という点もぴったりです。

6 対話と議論によって価値を高める。

研究者でさえも自らの専門分野を究めることはできません。また、研究報告の場において、他の研究者との議論を通して、新たな気づきや今後の研究のヒントを得ます。あらゆるものに関わらなければならない政治家は、なおさらこの点を認識することが重要だと思います。区民の皆様とは対話をし、議会では徹底的に議論をする。違う立場であっても最初から壁を作るのではなく、まずはぶつかっていく。そこから新たな価値が生まれると思っています。

「自民党最年少。新しく若い視点で区政を変えていきます！」